

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587060701	科目番号 / Course code	05870607
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15551_005		
授業科目名 / Course title	a4世界のことばの多様性COC / The World's Linguistic Diversity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	TOET RUDY, 伍 嘉誠		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	TOET RUDY		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	TOET RUDY		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	rudytoet nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5階ライティングセンター・留学相談室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の直後またはメールにて質問を受け付ける。メールによりアポイントメントを取ることできる。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	音声学・音韻論(発音)、形態論・統語論(文法)等の各観点から、世界の各言語に見られる様々な表現の仕方について考察する。日本語や英語の比較的身近な言語から聞いたことすらない言語まで幅広く見ていき、ヒトを特徴づける「ことば」というものの多様性に驚きながら、その表面の下にある人間の普遍性を示唆する側面も探る。また、他言語に見られる特徴が、日本共通語・標準語には見られないが、長崎方言(九州方言)には見られるなどのようなケースを通じて、世界のことばの多様性のみならず日本のことばの多様性についても理解を深め、地元のことばを考える機会ともする。学生の英語などの外国語学習に対する刺激になることも狙いの一つである。		
授業到達目標/Course goals	1. 世界の各言語のどの側面がどのように異なり得るか、そしてどのような普遍的な側面があるかを理解し、説明できるようになる((1)(8)(11))。 2. 自分の使うことば・地元のことばの特徴を把握し、世界のことばの多様性の中に位置づけることができるようになる((1)(8)(11))。 3. 英語などの外国語学習において取り組むべき要素を新たに見付け、その方法を考えることができるようになる((2)(10))。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 授業で得た知識を活用して、外国語学習において取り組むべき要素を主体的に確認する活動 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み 30点 内容理解確認小テスト(平均点数) 20点 提出課題(平均点数) 20点 定期試験 30点 合計100点の内60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	【予習】毎回指定される資料を予め読んでおくこと。(1コマ当たり2時間) 【復習】授業の内容に対する学生の理解を確認するために定期的実施する小テストのための復習と、数回提出を求める異なる言語のある特徴を比較する小レポートの執筆。(1コマ当たり2時間)		
キーワード / Keywords	世界の各言語の音声学・音韻論・形態論・統語論、長崎県・九州地方の方言		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は指定しない。授業で適宜に資料を配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1～2回	オリエンテーションに加えて世界の各言語について概説する。
第3～4回	音声学の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第5～6回	音韻論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第7～8回	形態論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第9～10回	統語論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第11～12回	「言語行為」(speech acts)の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第13～14回	時制(テンス)と相(アスペクト)の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第15回	第14回まで扱った内容をまとめる。
第16回	定期試験を実施する。

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587065301	科目番号 / Course code	05870653
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 16331_005		
授業科目名 / Course title	a4インタラクシオンと会話の人類学 / Anthropology of Interaction and Conversation		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	波佐間 逸博 / Itsuhiro Hazama, 伍 嘉誠		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	波佐間 逸博 / Itsuhiro Hazama		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	波佐間 逸博 / Itsuhiro Hazama		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館3F第31講義室 / Room 31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hazama nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	多文化社会学部 (総合教育研究棟) 11階 波佐間研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2922		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金 9:00 17:00 (事前にメールで確認してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	対面的コミュニケーションに関心があり、直接観察にもとづいて日常性の構造をとらえなおすフィールドワークに魅力を感じている学生を対象とします。授業では、アフリカの狩猟採集民や牧畜民、農耕民のコミュニケーションに関する具体的な事実を理解し、言語的・非言語的コミュニケーションの多様性と普遍性の分岐点について根源から思考することを目指します。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活での出来事をもとに、自己のコミュニケーションの規定性を内発的に探求できる。 ・異文化における対人関係の意味を多面的・分析的に吟味できる。 ・コミュニケーションの自然誌記述の方法を説明できる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 事例学習 (参考文献やDVDを使用する) F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ワークへの参加状況70% 最終レポート30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義資料や予復習の課題、連絡事項などをLACS上に掲載するので、各自確認してください。		
キーワード/Keywords	アフリカ、共在、会話、フィールドワーク、声		
教科書・教材・参考書/Materials	波佐間逸博 『牧畜世界の共生論理：カリモジョンとドドスの民族誌』京都大学術出版会, 2015 木村大治 (編) 『動物と出会う : 出会いの相互行為』ナカニシヤ出版, 2015 木村大治 (編) 『動物と出会う : 心と社会の生成』ナカニシヤ出版, 2015		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	コミュニケーションの身体モデル：アフリカの伝統音楽
第3回	コミュニケーションの身体モデル：「会話の格率」は普遍的か？
第4回	コミュニケーションの身体モデル： 関連性からの離脱
第5回	コミュニケーションの身体モデル：まとめと質疑応答
第6回	非言語コミュニケーション：感情を表現する発声は文化を越えて通じるか？
第7回	非言語コミュニケーション：声と人称の拡散空間
第8回	非言語コミュニケーション：コール&レスポンスから反構造へ
第9回	非言語コミュニケーション：まとめと質疑応答
第10回	オーラリティ：文字の文化と声の文化
第11回	オーラリティ：婚資交渉におけるメタ・メッセージ
第12回	オーラリティ：牧童が歌う存在の詩
第13回	オーラリティ：まとめと質疑応答
第14回	講義全体の総括
第15回	最終レポート作成

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/01/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587067301	科目番号 / Course code	05870673
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 16421_005		
授業科目名 / Course title	a4国道3号線の思想・文化・社会の歴史 / History of Idea, Culture and Society of National Rout 3 in Kyushu		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森 元斎		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	森 元斎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	森 元斎		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	motonaomori nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟12階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	近代以降の九州、とりわけ現在の国道3号線沿い周辺域で生じた出来事を、民衆の視線で取り上げ、近代化の流れへの抵抗や、近代的なものからの暴力がどのようになされてきたのかを論じ、民衆がどのようにして生きてきたのかを明らかにします。これに加えて、九州に住む現在の私たちの歴史を学ぶことも目的とします。		
授業到達目標/Course goals	近代以降の九州の民衆が、どのように近代化の時流に対応したのかを理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義期間中に提出する小課題(40%)と定期試験(60%)の合計		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】次回講義のキーワードを提示するので、キーワードに関する内容を各自、文献、Web等で調べておくこと。(2h)【復習】講義資料を復習すると共に、講義時のレポート課題に関して、講義資料で紹介されたHPや文献で理解を深めること。(2h)		
キーワード/Keywords	国道3号線、米騒動、炭鉱、水俣、西南戦争、近代化		
教科書・教材・参考書/Materials	森元斎『国道3号線』(共和国、近刊)		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	関連する書籍などを読むことが望ましいです。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	ガイダンス：九州の近代化と国道3号線 九州と世界
2回	北部九州の近代化 アジアとのつながり
3回	門司港の米騒動 第一次世界大戦
4回	炭鉱の米騒動 軍部と民衆
5回	サークル村の磁場 上野英信
6回	サークル村の磁場 谷川雁
7回	サークル村の磁場 森崎和江
8回	福岡とアジア ドキュメンタリスト木村栄文(1)
9回	福岡とアジア ドキュメンタリスト木村栄文(2)
10回	戦争と詩 丸山豊
11回	山鹿コミュン ルソーの思想とコミュン
12回	宮崎滔天のアジア
13回	水俣病 医学者としての原田正純
14回	水俣病 世界文学としての石牟礼道子
15回	西南戦争と近代化
16回	定期試験